

しゃらくかい
写楽同会

平成29年12月31日発行 024
投稿/投票宛先 ; kinuko_thompson@hotmail.com
© 2017 Sharakukai

早いもので今年も大晦日となりました。皆さまには今年もご協力いただき本当に感謝しております。
新たな年もまたよろしくお願いたします。今月の兼題は北切雀出題「本」です。
皆様、良いお年をお迎えくださいますよう。

写真俳句



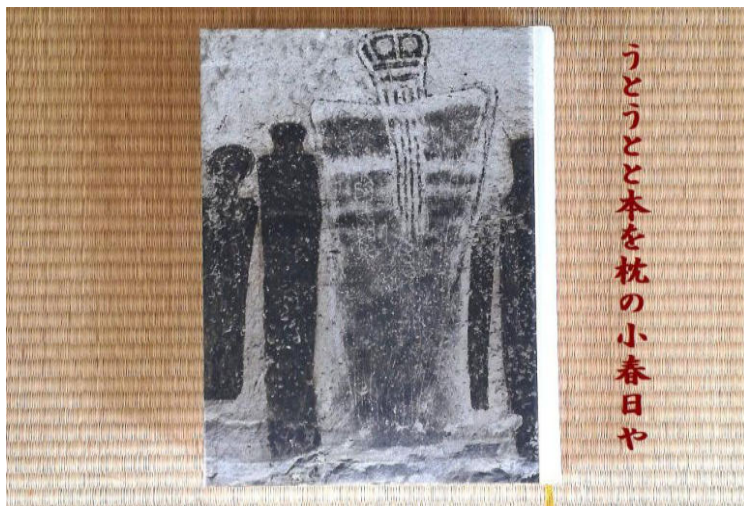
1 小春日に猫も紛れる漱石忌

12月9日は漱石の命日。お参りの人が絶えない。
時々このお墓に見守り猫が顔を出す。
(猫が撮れなかったので画像加工で再現)



2 着ぶくれて本を小脇にバスを待つ

本を読みながら待つつもりでしたが寒くて手はポケットに。



3 うとうとと本を枕の小春日や



活字から目上げ
冬日で時を知る

4 活字から目上げ冬日で時を知る

夕飯の支度の目安です。



作家逝き言の葉途絶え冬ざるる

5 作家逝き言の葉途絶え冬ざるる



6 聖書読むことなき街のクリスマス

キリスト教とは関係なく、クリスマスを祝う風潮に多少の違和感を感じています。



ムラカミが古典となりて年暮れて

7 ムラカミが古典となりて年暮れて

書店に村上春樹の「ノルウェイの森」が、「二十日鼠と人間」「ライ麦畑でつかまえて」「蠅の王」など、現代の古典ともいえる作品と並んでいた。



8 蕪村忌や句集傍らいざ句作

蕪村に刺激を受け自分もと句作を試みるも苦作に終わりました。

俳句

1 ボロ市や母との絵本見つけたり

懐かしい本を見つけました。それは昔母が良くよんでくれた絵本でした。

2 風の聲に眠れず本を取る

風の強い晩は雨戸の音や風の音で寝付かれず本を読む事も。

3 大晦日寺の鐘聞き本めくる

4 寝床でのわずかな読書かじかむ手

寝る前に読む習慣が冬は短くなります。

5 老いの冬近頃本も買わざりき

俳句歳時記すら買おうかどうしようか迷ってます。
図書館にいつも出待ちの歳時記があるので…

6 冷え布団顎まで潜り活字追う

7 風邪ひきの孫の絵本の読み聞かせ



9 みかん食べよごれた指で本めくる



お茶と煎餅と本と・・・至福の三点セット。
(北切雀)

短歌

寒風に駆ける落葉の鬼ごっこ纏れ重なりまた風を待つ 準坊

風を受け一斉に駆け回る落葉には意志が有るようです。

川柳**準坊****人の名を思い出せずに挨拶し**

有名な人でも直ぐに名前が出て来ず困る事が多くなってきました。

沈丁花**犬欲しと夫のつぶやき聞き流し**

ムリ ムリ

ぎこちなく赤子を抱いて若き父

宝物を捧げ持つようにおくるみに包まれた赤ちゃんを抱く父親と、傍らに寄り添う妻。すれ違った時彼らは幸せのオーラに包まれていました。

写真いいね!

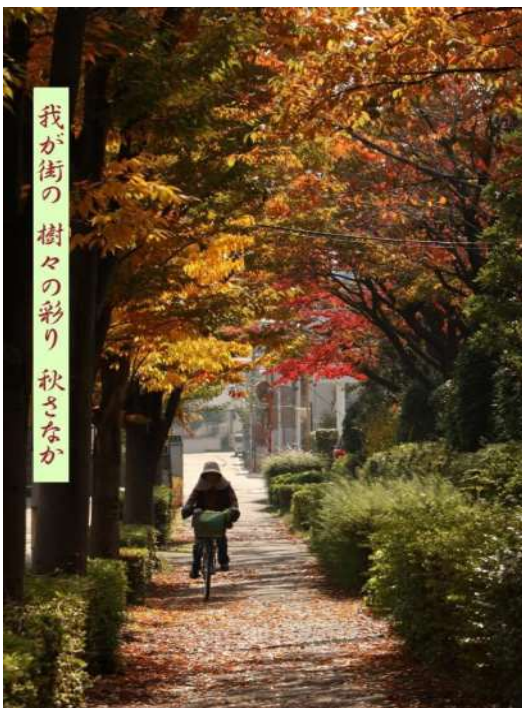
よべ

昨夜の雨名残り潜めてもみじ照る 久芽

- * 昨夜の雨～ バックの葉のボカシや色づいたもみじが 絵葉書のように美しいです（池福楼）。
- * 友禅の振袖を見ているようでうっとり（北切雀）。

我が街の樹々の彩り秋さなか 昼寝覚

* 推薦者：NGさん、池福楼

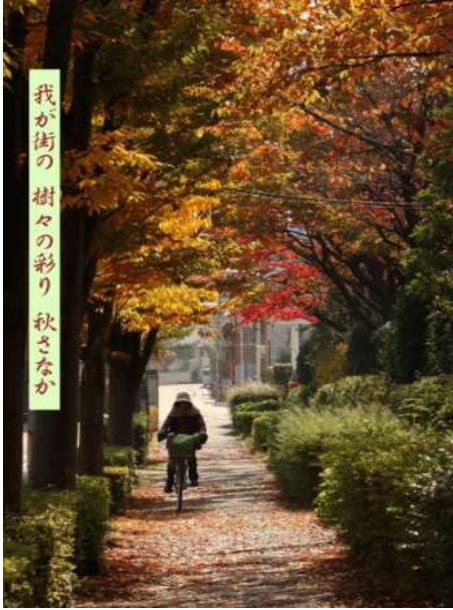
**秋の色全色揃え柿紅葉 iSAMU**

* 推薦者：HOさん

<< >>は作者コメント、* は読者コメントです。

写真俳句の部 総投票数：30

一席



我が街の樹々の彩り秋さなか 昼寝覚（8票）

<<あちこちで紅葉が見頃とニュースで盛んに言っていますが、近くでも結構綺麗な紅葉がありました。>>

- * 灯台下暗しですね。物語を感じる素敵な写真ですね。
- * 落ち葉や人物を入れた構図は色彩・陰影等、雰囲気抜群。
<写真いいね>にも推したい。句も勿論画像そのままに素直に詠んでいます。
- * 人物、それも自転車の人を入れたのがとてもいい。紅葉のトンネルを過ぎて行く「時」の象徴のようです。
- * 11月の終り頃には我が街でもあちこちで同じような風景に出会いました。
- * 身近なところにも秋の訪れは感じられますね。
- * 遠くの紅葉狩りに行けなくても、見渡せば身近で目を楽しませてくれる風景があるものですね。それを発見できたら毎日楽しく暮らせるにちがいないです！

佳作



よべ

昨夜の雨名残り潜めてもみじ照る 久芽（6票）

<<雨後の紅葉が光っていました。>>

- * 画像と句が一幅の絵のように美しく納まっていますね。
- * 俳句も素敵なのですが字の入れ方に感心します。教えてください。
- * 紅葉が雨に洗われて美しく照り輝いている様子が、俳句と写真とともに感じられます。
- * 写真俳句の王道をいってますね
- * しっとりした上五がいい。

峰近し（順不同）



秋の色全色揃え柿紅葉 iSAMU

- * 朱色、紅色、黄色…多彩な色合いが画像とともに美しく表現。
- * 柿の実は大好きですが、艶やかな葉の紅葉の美しさにも感心していました。「柿紅葉」とはすてき。



角曲がり楓の赤に驚きぬ 千泉

<<良い写真が撮れず、昨年の作品ですが、驚きは昨日のここのように思い出します。>>

- * 見事な楓の赤ですね。私も遭遇すれば驚くかも。
- * いきなりこんな光景を見た感動は長く目に焼きつくことでしょう。
- * 楓の赤がいい。



紅葉の天蓋しばし風座る 北切雀

<<柏餅に使いそうな大ぶりの葉です。>>

- * 過ぎて行く季節を一瞬守るように覆われた天蓋。風も陽射しも控えるような静かさを感じる。
- * 風の代わりに私が座りたーい、そんなリラックスできる気持ちのいい写真ですね。

秋の風黄色の葉たちかわいがり 梵木



- * 都会のど真ん中にも秋の彩が。高層ビルが木々を見守り、秋の風を包みこんでいる。下五の独特の表現が現代風。
- * 都会の中にもこんな堂々とした銀杏があるのかと驚かされた。ただし街の木の定めで随分と剪定されている。痛々しくも感じるが、背後のビルよりも都会人には嬉しい眺めであろう。
- * 立派な銀杏の木ですね。かわいがりという言葉で角界が頭をよぎってしまいます。



隧道抜け歓声上がる紅葉狩り 池福楼

<<バスツアー。七曲りのトンネルを抜けると目にも鮮やかな色彩が。>>

- * 綺麗な色ですね これなら歓声も上がるでしょう。
- * 真っ直ぐに目に飛び込む鮮やかな色。ドアミラーでしょうか、紅葉狩りの人間がいるのを暗示しているのがワザ。



風吹けど散るも叶わぬ似非紅葉 沈丁花

<<商店街が季節毎に変えて飾ってます。>>

- * 散りてこそ紅葉。人工物と自然との対比。何故か物侘しい風景。
- * 紅葉の兼題に、商店街の造花を見つけられたのはさすが、と思いました。
- * 似非紅葉 散りそうで散らないですね。
- * 鮮やかな色の対比が見事な写真とユニークな視点の句。飛ぶに飛べない籠の鳥のようでもあります。



竿さばき見惚れながらの紅葉狩 準坊

<<長瀬ラインくだりでの一コマです。秩父音頭が聞こえそうです。>>

- * 画像は船頭と舟客、川、紅葉の丘が丁度よいバランスですね。
- * 長瀬でしょうか、船頭さんの動きが目に見えるようです。
- * 乗りたい!

秋小寒薄着の我にカーディガン羽織らせる妻に何故か照れる 準坊

<<口には出さねど連合いに感謝感謝の日々です〜。>>

* 微笑ましい情景ながら、奥様の思いやりに対し作者の感謝の念が伝わる歌ですね。

川柳

準坊 徘徊と余り変わらぬブラ散歩

* 笑えるね。時々帰り道まで忘れてたりして…

北切雀 まだかいなオツムネットの立ち上がり

ひとつづつマルチタスクは事故のもと

サンタさんお掃除ロボットお願いね

* 北切雀さんの川柳期待していました。なかなか面白い。1句目・オンラインは必ず立ち上がるけどオツムネットはときにフリーズしてしまう。3句目・料理ロボットも、洗濯ロボットも、ぐち聞きロボットも欲しいですね。

* 北切雀さんの川柳、とっても楽しませてもらいました。

俳句の部 総投票数：30

一席

舞い降りしもみじ葉にページ閉じ 準坊（10 票）

<<秋日和に公園のベンチで読書など如何でしょう。>>

- * イマジネーションが広がり、良質な映像を思い浮かべるよう。余韻がありながら、解りやすい句です。
- * 公園のベンチで本を読んでいたのでしょうか。
- * 私も昔はよくやりました。
- * 優雅なひとときですね。
- * ベンチで読書！ ハラハラ落ちる紅葉葉に1枚……。
- * 秋の素敵な日常が感じられて幸せになります。

佳作

庭隅の小さきもみじの自己主張 千泉（6 票）

<<我家の風景ですが、今年もやっと自己主張を始めました。>>

- * 我が家の今年の紅葉は自己主張がイマイチです。
- * 自宅にも訪れる秋。庭先の出来事に小さな幸せを感じている作者に共感。
- * 小さなもみじが可憐に紅葉しているさま、きっと素晴らしいお庭でしょう。
- * もみじひとつで、庭の印象はとてかわりますよね。
- * 鮮やかな紅葉存在感ありますね。

撮影：久芽



紅葉の景で誘う旅しおり 沈丁花

* 送られてくる旅行パンフをながめ旅情に浸ることにしよう。

雑木原 赤や黄色に 色かわる 梵木

* 木々の緑色だけの景色がいつの間に錦絵のような佇まいに。
* 上五の字余りはアリなので「雑木林」はいかがでしょうか？

ドライブの止めてみつらん山紅葉 久芽

<<山の紅葉は最高です。車を止めて見入ってしまいます。>>

* 楓に代表する山紅葉のあでやかさ。見入る作者の感動が想像される。

米買って戻る肩先もみじの葉 北切雀

<<ふと冬ごもりに入るような気分に。>>

* 「米買って」が印象に。手に提げて？担いでかな。
* 米買ってが良いですね。長く寒い冬に冬眠する獣の気分か。回り絵のように次の季節が巡り来る。

青空に聳える大樹黄葉（もみじ）燃ゆ 池福楼

<<神社の黄金色の大銀杏に圧倒される。>>

* 黄葉もモミジと読むのですね、いつも勉強させていただいて感謝！
* 私も近所の銀杏を見上げたら丁度この句のまま青空と黄色 綺麗な配色を目にしました。
* 黄色の紅葉も黄金のように輝いて見え圧巻ですよ。地面も黄色に染まっている風景が目に見えられます。

- * 平成30年1月の兼題は沈丁花さん出題「去年今年」または「正月」です。
2月号の兼題は池福楼さん出題「編む」または「織る」です。
* 平成29年12月号の作品の写俳、俳句の中で「いいね」と思われた二作品の番号を投票して下さい。
* 句とは別に、写真として特にいいと思われる写俳作品がありましたら、「写真いいね！」として投票して下さい。
* 投票しなかった作品へのコメントも遠慮なくお寄せ下さい。
* 睦月1月への投稿、師走12月号作品への投票の締め切りはともに平成30年1月20日です。
短歌、川柳も大歓迎です。
* 随想、珍事報告などなど書き込みの他、読者さんからの兼題提案も常時受け付けてます。

「写楽句会」（五十音順）

池福楼、iSAMU、北切雀、準坊、隅っ孤、沈丁花、千泉、久芽、昼寝覚、梵木、

写楽句会024（連絡先：kinuko_thompson@hotmail.com）

© 2017 Sharakukai

筆責：北切雀

校正：準坊、池福楼

